



ムギ類赤かび病の防除時期が早まっています！

令和6年4月1日発表 広島県西部農業技術指導所

気象状況及び生育状況（表1参照）

- 中国地方1か月予報（3月28日発表）では気温が高く降水量が多い見込みのため、赤かび病が発生しやすくなっています。
- 農業技術センター（東広島市）での小麦、大麦の生育ステージは、平年よりも出穂時期が早まることが予想されています。

表1 ムギ類の生育ステージ（東広島市、標高225m）

品種	播種時期	年次	莖立期	出穂期
(小麦) キヌヒメ	11月2日	本年	3月8日	4月12日
		平年	3月17日	4月17日
(小麦) ミナミノカオリ	11月2日	本年	2月16日	4月8日
		平年	2月24日	4月16日
(大麦) さやかぜ	11月2日	本年	2月25日	4月9日
		平年	3月8日	4月12日

防除適期（表2参照）

- 赤かび病は開花期に最も感染しやすいため、**防除は開花始めとその7～10日後の2回防除**を行いましょう。開花始めは、小麦では出穂から約7日後、大麦では出穂から約3日後です。但し、**二条大麦は葎殻抽出期とその7～10日後の2回防除**を行いましょう。
- 気温により出穂状況が前後するため、ほ場をこまめに巡回し、確認しまししょう。

表2 防除適期の目安

		開花始め	※葎殻抽出期（二条大麦の場合）	
小麦	防除	1回目 ←→ 2回目		
	出穂後日数	7	7～10日間隔	14～17
六条大麦, キラリモチ	防除	1回目 ←→ 2回目		
	出穂後日数	3	7～10日間隔	10～13
二条大麦	防除	1回目 ←→ 2回目		
	出穂後日数	13	7～10日間隔	20～23

開花始め：1穂につき数花開花しているものが、全穂数の10～20%に達した日。

葎殻抽出期：穎の先端から葎殻が押し出される時期

防除薬剤について

- 薬剤散布については、農薬使用基準（使用量、希釈倍数、使用時期、使用回数等）を遵守するとともに、周辺作物への飛散防止対策を徹底してください。なお、最新の農薬情報は、農林水産省ホームページ「農薬コーナー」の「農薬登録情報提供システム（<https://pesticide.maff.go.jp/>）」を参照してください。

お問い合わせ先

広島県西部農業技術指導所 植物防疫チーム

〒739-0151

東広島市八本松町原6869

TEL：082-420-9662（直通）



ひろしま病害虫情報

(<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/byogaichu/>)

ホームページ
リニューアル！

